



平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 8 月 3 日

上場会社名 日清食品株式会社

(コード番号：2897 東証・大証 第一部)

(URL <http://www.nissinfoods.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名：代表取締役社長 安藤 宏基
責任者役職・氏名：取締役財務部長 柳田 隆久

TEL (06)6305-7711

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計算等については、簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結（新規）1社

2. 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期 第1四半期	75,631	0.8	6,459	△7.4	10,035	23.2	6,128	135.4
17年3月期 第1四半期	75,059	△2.2	6,973	35.5	8,144	16.8	2,604	△35.1
(参考)17年3月期	316,972		28,962		33,183		16,611	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期 第1四半期	49.65		—	
17年3月期 第1四半期	21.10		—	
(参考)17年3月期	134.36		—	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期 第1四半期	352,378	260,350	73.9	2,109.31
17年3月期 第1四半期	338,284	243,293	71.9	1,971.09
(参考)17年3月期	361,104	258,138	71.5	2,091.16

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期 第1四半期	△64	11,788	△3,564	74,893
17年3月期 第1四半期	—	—	—	—
(参考)17年3月期	30,259	△30,348	△5,708	66,326

(注)四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載しておりません。

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	155,000	16,000	5,000
通期	328,000	36,000	17,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 137円53銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年5月16日に公表した業績予想につきまして変更はありませんが、為替の変動等不確定要因により実際の業績は記載の予想数値と異なる場合があります。

4. 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報

わが国経済は、急速な経済発展を続けてきた中国に対する輸出の減速や、原油価格の大幅な高騰などの影響により、製造業を中心とした企業部門では予断を許さない状況が続いております。設備投資については、新たに内需関連企業が中心となり裾野の広がりを見せ始めました。夏物衣料、家電製品、自動車に代表される個人消費は雇用環境の改善を背景に回復傾向を示しているものの、小売業界では依然として価格競争が続き、デフレ状況を脱却するには到っておりません。

このような経済環境の中、消費者の低価格志向もいまだ根強く、食品に対する需要も低価格商品と付加価値の高い高級品とに二極化が進んできました。国内の即席めん市場は、すでに成熟化しており、需要の飛躍的な拡大が見込めない状況ではありますが、各社とも高価格帯商品の育成、健康志向に対応した商品開発などにより市場の活性化を模索してきました。その結果、当第1四半期の販売状況は、業界全体では前年同期を若干下回りました。

即席めん業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いていますが、当社は主カブランドである「チキンラーメン」「カップヌードル」を核に、ヘルス&ビューティーをコンセプトにした新市場創造型商品の「日清健多郎」や「アジアヌードル」などの新製品を投入し、積極的な販売展開を行いました。他の既存ブランドである「日清のどん兵衛」「日清焼そば U.F.O.」についても販売強化に努めた結果、前年同期を大きく上回る売上を記録するなど好調に推移しました。

チルド・冷凍食品では既存ブランドの「日清焼そば」「冷凍日清スパ王」が当部門の中核商品として好調な売れ行きを示しました。

また、菓子部門では、シリアル群の「シスコーン BIG」が、飲料部門では特定保健用食品の許可を取得している「ピルクル」が消費者の支持を得て、前年に引き続き堅調に推移しました。

一方、海外市場においては、世界即席めん市場の拡大を牽引する南北アメリカ地域を中心に、新規販売ルートの開拓と新商品の開発を行い売上を伸ばしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は756億31百万円(前年同期比0.8%増)となりました。利益面では、積極的な拡販活動を行ったことなどにより営業利益が64億59百万円(前年同期比7.4%減)となりましたが、主に有価証券売却益の増加によって営業外損益が改善したため、経常利益は100億35百万円(前年同期比23.2%増)となりました。また、当第1四半期は特別損失がなかったため、当期純利益は61億28百万円(前年同期比135.4%増)となりました。

四半期連結財務諸表

1. (要約)四半期連結貸借対照表

期 別 科 目	当第1四半期 (平成17年6月30日現在)		前第1四半期 (平成16年6月30日現在)		(参考)前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 流 動 資 産	139,466	39.6	127,086	37.6	133,147	36.9
現金及び預金	57,955		66,134		60,957	
受取手形及び売掛金	33,811		35,462		38,890	
有価証券	27,412		5,990		13,127	
棚卸資産	12,622		12,044		12,355	
その他	7,915		7,716		8,154	
貸倒引当金	△252		△261		△338	
II 固 定 資 産	212,912	60.4	211,198	62.4	227,957	63.1
有形固定資産	75,243	21.4	79,935	23.6	75,332	20.9
無形固定資産	931	0.2	926	0.3	771	0.2
投資その他の資産	136,737	38.8	130,335	38.5	151,853	42.0
投資有価証券	115,100		116,426		129,960	
出資金	11,915		6,864		12,610	
長期貸付金	214		243		215	
その他	9,669		6,804		9,229	
貸倒引当金	△162		△2		△162	
資 産 合 計	352,378	100.0	338,284	100.0	361,104	100.0
(負 債 の 部)						
I 流 動 負 債	69,942	19.8	68,501	20.2	76,816	21.2
支払手形及び買掛金	31,292		31,515		33,682	
短期借入金	3,185		4,215		3,038	
未払金	17,485		16,864		19,498	
未払法人税等	3,932		2,484		7,565	
その他	14,046		13,421		13,031	
II 固 定 負 債	15,143	4.3	19,816	5.9	19,414	5.4
退職給付引当金	13,171		14,194		13,580	
その他	1,971		5,622		5,833	
負 債 合 計	85,085	24.1	88,318	26.1	96,230	26.6
(少 数 株 主 持 分)						
少 数 株 主 持 分	6,942	2.0	6,672	2.0	6,735	1.9
(資 本 の 部)						
I 資 本 金	25,122	7.1	25,122	7.4	25,122	7.0
II 資 本 剰 余 金	48,370	13.7	48,370	14.3	48,370	13.4
III 利 益 剰 余 金	196,326	55.7	179,918	53.2	193,926	53.7
IV 土 地 再 評 価 差 額 金	△2,359	△0.6	△2,359	△0.7	△2,359	△0.7
V その他有価証券評価差額金	5,404	1.5	4,907	1.5	6,114	1.7
VI 為 替 換 算 調 整 勘 定	△2,760	△0.7	△2,917	△0.9	△3,282	△0.8
VII 自 己 株 式	△9,754	△2.8	△9,749	△2.9	△9,753	△2.8
資 本 合 計	260,350	73.9	243,293	71.9	258,138	71.5
負債、少数株主持分及び資本合計	352,378	100.0	338,284	100.0	361,104	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	当第1四半期 自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日		前第1四半期 自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日		(参考)前連結会計年度 自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 売 上 高	75,631	100.0	75,059	100.0	316,972	100.0
II 売 上 原 価	37,553	49.7	37,316	49.7	156,876	49.5
売 上 総 利 益	38,077	50.3	37,743	50.3	160,095	50.5
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	31,618	41.8	30,769	41.0	131,133	41.4
営 業 利 益	6,459	8.5	6,973	9.3	28,962	9.1
IV 営 業 外 収 益	3,704	4.9	1,203	1.6	4,454	1.4
受取利息及び配当金	1,192		898		2,538	
有価証券売却益	1,991		0		374	
持分法による投資利益	174		175		427	
そ の 他	345		128		1,114	
V 営 業 外 費 用	128	0.1	33	0.0	234	0.0
経 常 利 益	10,035	13.3	8,144	10.9	33,183	10.5
VI 特 別 利 益	95	0.1	293	0.4	294	0.1
VII 特 別 損 失	5	0.0	3,775	5.1	6,405	2.0
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,125	13.4	4,662	6.2	27,072	8.6
法 人 税 等	3,865	5.1	2,030	2.7	10,243	3.3
少 数 株 主 利 益	131	0.2	28	0.0	216	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益	6,128	8.1	2,604	3.5	16,611	5.2

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	(参考) 前連結会計年度
	当第1四半期 自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日	自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日
	金 額	金 額
	百万円	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,125	27,072
減価償却費	1,419	6,674
持分法による投資利益	△174	△427
売上債権の増減額(増加:△)	5,432	559
棚卸資産の増減額(増加:△)	146	△501
仕入債務の増減額(減少:△)	△2,881	△497
その他の	△8,050	2,197
小計	6,018	35,077
法人税等の支払額	△7,523	△7,457
その他の	1,440	2,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64	30,259
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得・売却等(取得:△)	2,883	2,789
有形固定資産等の取得・売却(取得:△)	△1,078	△1,560
投資有価証券等の取得・売却等(取得:△)	10,012	△29,697
その他の	△29	△1,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,788	△30,348
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,703	△3,702
少数株主への配当金の支払額	△11	△13
その他の	150	△1,993
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,564	△5,708
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	298	△16
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	8,457	△5,813
VI 現金及び現金同等物の期首残高	66,326	72,140
VII 新規連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	109	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	74,893	66,326

(注) 四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載しておりません。